



# 生徒指導・生徒理解の基本 ～こんなときどうする？～

学校現場で欠かせない生徒指導と生徒理解の重要性を、  
体験活動やロールプレイを通して実践的に学びます

 一人一人の児童・生徒を理解し、支援する力を育む

# この時間の流れ

- ① 「生徒指導」「生徒理解」とは？【基礎知識】
- ② こんな児童生徒がいたらどう見る？【見る視点を養う】
- ③ こんなときどうする？【ロールプレイ】
- ④ 振り返り【学び・気付きの整理】

視点1：今日の学びを通して、「生徒指導」や「生徒理解」に対するイメージはどのように変わりましたか？

視点2：もし自分が教師だったら、児童・生徒に「この先生なら話してもいい」と思ってもらうために、どんなことを大切にしたいと思いましたか？

視点3：そのような教師になるために、今から自分ができること・学びたいことは何ですか？

# 「生徒指導」「生徒理解」とは？

## 「生徒指導」へのイメージ



- ・叱る、怒る。
- ・ルールを守らせる。
- ・厳しい先生が行う。

## 「生徒理解」へのイメージ



- ・性格をつかむ。
- ・情報を知る。
- ・困っている子を把握する。

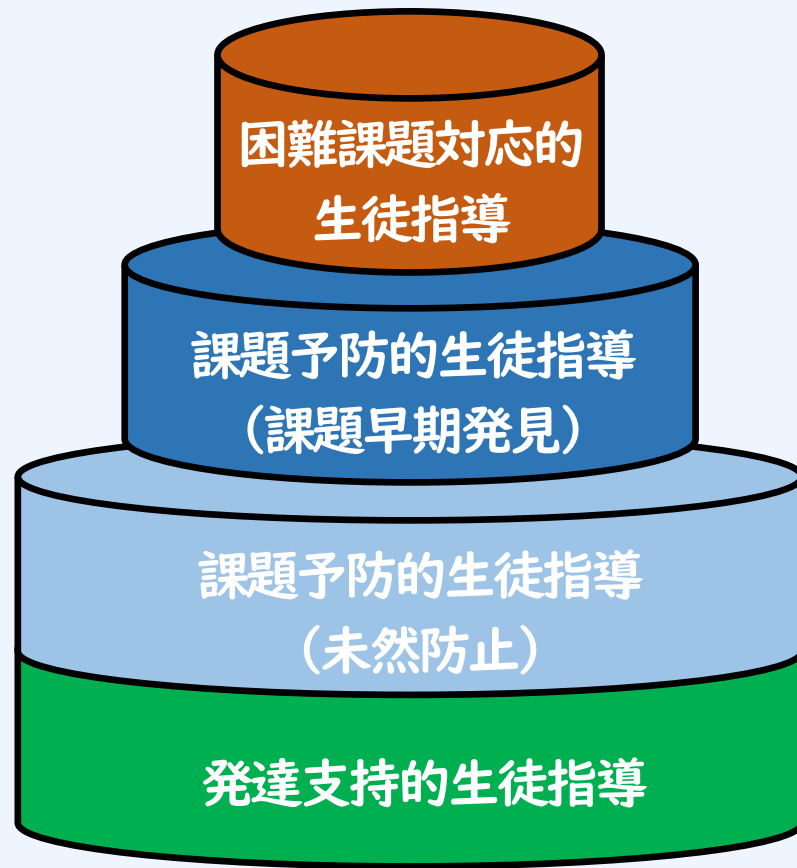
## ■ 文部科学省による定義 「生徒指導提要（改訂版）2022年」

「**生徒指導**とは、児童生徒が社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。」

「**児童生徒理解**とは、一人一人の児童生徒に対して適切な指導・援助を計画し実践することを目指して、学習面、心理・社会面、進路面、家庭面の状況や環境についての情報を収集し、分析するためのプロセスを意味します。」

# 生徒指導の重層的支援構造（生徒指導提要より）

さらに詳しく学びたい方は参考にしてください



いじめや不登校等の問題が生じた際の組織的対応や専門的支援



特定の課題を意識し、予兆が見られる等の一部の児童生徒の課題の深刻化を防止



特定の課題を意識し、すべての児童生徒に対する生徒指導上の諸課題の発生を未然防止



すべての児童生徒を対象とした、社会性や人間関係形成能力等を育む日常的な教育活動

「起きてからどう対応するか？」ということ以上に、「どうすれば起きないか？」  
ということを考え、対応していくことがとても大切である。

# 「生徒指導」とは…

児童・生徒がよりよく成長し、安心して学校生活を送れるように、  
先生がサポートするすべての関わり。

- ☑ 「叱ること」だけではない → ルール違反を注意するのも指導の一部であるが、それがすべてではない。
- ☑ 児童生徒がよりよく生きる力を育てる → 自分で考えて行動したり、人と協力したりできるようにするサポートである。
- ☑ トラブルや悩みにも対応する → 友達関係や生活の困り事に寄り添いながら見守る。
- ☑ 教科の勉強以外の“生きる力”を育てる → 礼儀、思いやり、感情のコントロール等も含まれる。

# 「生徒理解」とは…

児童・生徒の行動や表情だけを見て判断するのではなく、  
「なぜそんな行動をしているのか？」という  
“気持ち”や“背景”まで考えて寄り添うこと。

“知る”までではなく、  
それを基に“関わり方を  
工夫する”ところまで！

- ☒ 行動の“理由”を考える → 目の前の言動だけでなく、「どうしてそうしたのか」を考える。
- ☒ 見えない部分に気付く力 → 表情・様子・反応から、その子の“心の声”をくみ取ろうとする。
- ☒ 決めつけない → 「悪い子」じゃなくて、「今つまずいている子」と見ようとする姿勢。
- ☒ 一人一人違うことを前提に → 同じ行動でも、背景や思いは違う。だからこそ丁寧に見る必要がある。



# 児童生徒を見る視点を養う①

## 事例Ⅰ：授業中に騒ぐ小学生



「落ち着きがない」の  
一言で済ませる？

どんな見方ができるか？  
どんな声かけができるか？



**不安・刺激への過敏さ・発達特性などの  
理解**が必要になってくるかも!?

# 児童生徒を見る視点を養う②

## 事例2:いつも遅刻してくる中学生



「だらしない」「やる気が  
ない」と決めつける?

どんな見方ができるか?  
どんな声かけができるか?



家庭の事情、生活リズム、自己肯定感など…  
何かしらの背景があるかも!?



# 不登校気味の児童との面談(ロールプレイ①)

## 場面Ⅰ

- ・児童Aが週に2～3日、体調不良などを理由に欠席するようになった。
- ・保護者からは「朝になるとお腹が痛いと言う」「無理に登校させようとすると泣いてしまう」と学校に連絡があった。
- ・児童Aはより頻繁に欠席するようになったので、家庭訪問をして、児童Aと保護者と話をした。

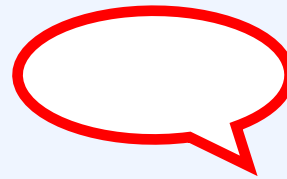
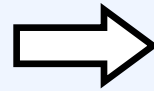
役割分担→担任、児童A、児童Aの保護者



児童A



児童Aの保護者



担任



児童Aの保護者



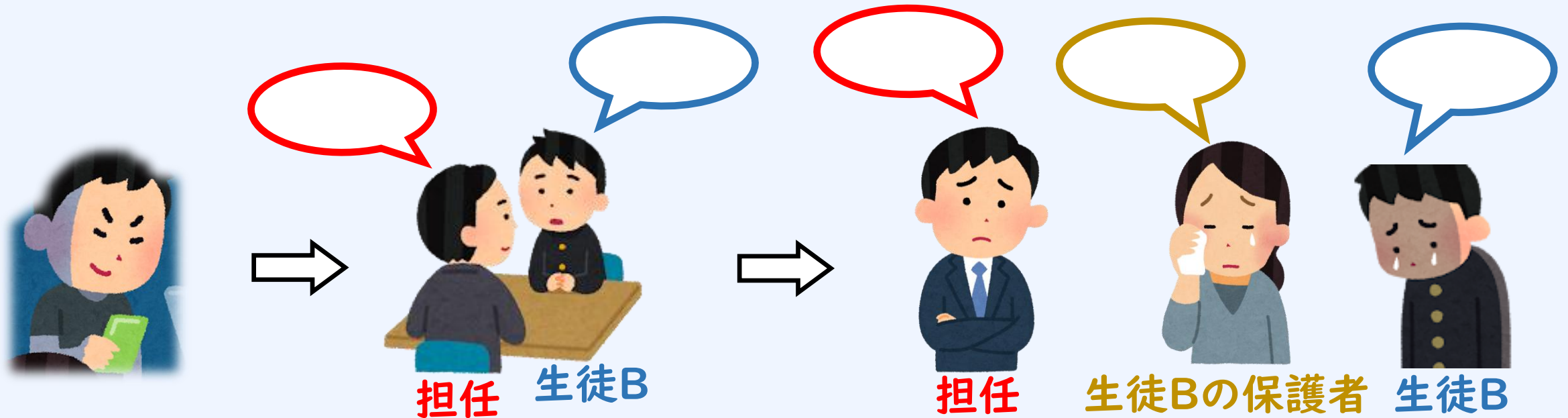
児童A

# 生徒同士のグループLINEでのトラブル(ロールプレイ②)

## 場面Ⅰ

- ・生徒Aが、クラスのグループLINEで軽い冗談のつもりで生徒Bをからかうスタンプや文言を投稿した。
- ・傷ついた生徒Bはグループから抜け、担任へ相談した。
- ・心配した生徒Bの保護者は、生徒Bとともに担任へ相談に来た。

役割分担→担任、生徒B、生徒Bの保護者

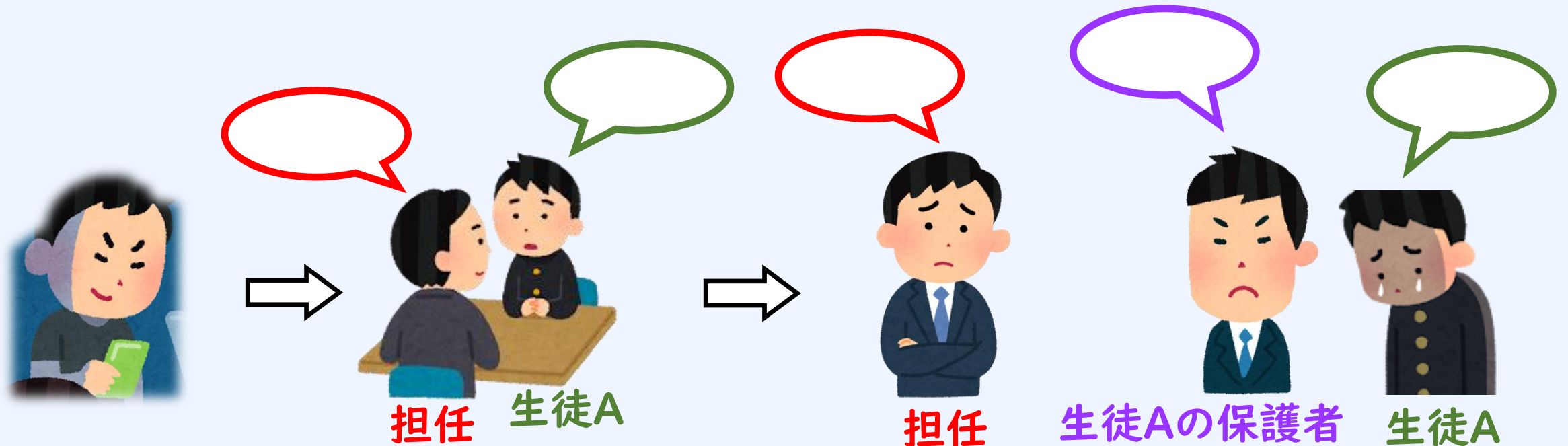


# 生徒同士のグループLINEでのトラブル(ロールプレイ②)

## 場面2

- ・翌日、担任は生徒Aを呼び出して話をした。
- ・その日の夜、生徒Aの保護者が怒った感じで学校に来た。
- ・担任は事情を説明し、3人での話し合いの場を設けた。

役割分担→担任、生徒A、生徒Aの保護者



# 振り返り

視点1：今日の学びを通して、「生徒指導」や「生徒理解」に対する  
イメージはどのように変わりましたか？

視点2：もし自分が教師だったら、児童・生徒に「この先生なら話しても  
いい」と思ってもらうために、どんなことを大切にしたいと思っ  
ましたか？

視点3：そのような教師になるために、今から自分ができること・  
学びたいことは何だと思いますか？

まずは個人で考え、その後、グループで共有しましょう！